



EVENT

ウィンザー城に新旧150台のベントレーが終結

コンクール・オブ・エレガンス



CONTENTS

1 EVENT —
コンクール・オブ・エレガンス

2 COMPETITORS —
Honda NSX



3 E-LEARNING —
Eラーニングの受講方法が
変わります

4 NEW MODEL —
ベントレー史上最速のセダン
フライングスパー W12 S



5 LATEST NEWS —
メディアサイトがリニューアル
他

6 BASIC KNOWLEDGE —
brembo

英国におけるクラシックカーの祭典「コンクール・オブ・エレガンス」が9月2日～4日、英国のウィンザー城で開催されました。今年で5回目のコンクール・オブ・エレガンスは、英国の宮殿前広場で開催される世界のプレステージカーが集うイベントとしてスタート。ベントレーはこのイベントの中心的なパートナーとして、過去から現在に至るまでのモデルを展示。「Old Number 2」(ブルックランズダブル12で優勝)の名で知られるSpeed 6 Van den Tourer(1930年)からミュルザンヌ・エクステンデッド・ホイールベース(日本未導入)やペンティガといった最新モデルなど150台以上を展示。また、エリザベス女王生誕90年を祝い、女王の在位中にリリースした象徴的なモデルを展示しました。この中にはベントレーのコーチビルディングの例として最もよく知られる女王専用の「ステートリムジン」も特別に展示されました。



BOARD MEMBER

新取締役役にオファーマン氏が就任

英国ベントレー モーターズはこのほど、新しい取締役(セールス、マーケティング、アフターセールス担当)にアンドレアス・オファーマン氏を迎えることを発表しました。オファーマン氏は10月1日付で着任します。また、現職のケビン・ローズ取締役は退任します。

オファーマン氏はBMWでキャリアをスタートさせ、9年間の間に国外市場における商品企画などのリーダー職を含むさまざまなマネジメント職を経験。フォルクスワーゲングループにおいてもポルシェで17年間、主にセールス部門で手腕を発揮し、前職ではセアトの副社長としてセールスとマーケティング部門を統括してきました。

ベントレー モーターズのウォルフガング・デュルハイマー会長兼CEOは、「オファーマン氏を迎えることを嬉しく思います。これまでの国際的なセールスの経験を活かし、ベントレーのリテラーネットワークをさらに拡大・拡充し、ベントレーブランドをさらに強固にしてくれると期待しています」などと語っています。デュルハイマー会長はまた、フォルクスワーゲングループで30年以上にわたり活躍したケビン・ローズ取締役について「ローズ氏のベントレーへの貢献に感謝しています。彼がベントレーのポジションを世界一のラグジュアリーカーブランドとして強固なものにしてくれました」などと、ねぎらいの言葉を発表しました。



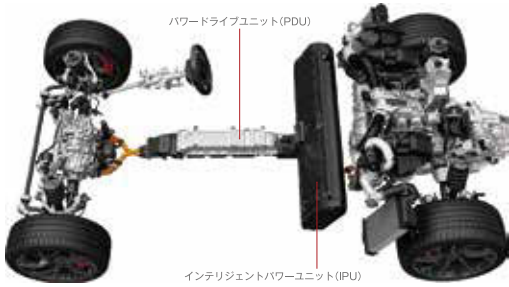
COMPETITORS INFORMATION [競合車情報]

Honda が生み出した新時代のスーパースポーツ — Honda NSXの特長 —

8月25日、Hondaは以前から開発を進めていたスーパースポーツモデル「NSX」を発表しました。26年ぶりのフルモデルチェンジとなる2代目NSXは、世界第一級の運動性能を持ちながら快適に操れるスーパースポーツという、初代NSXのコンセプトを踏襲。26年の間に進化したさまざまな技術を投入することにより、新時代の走りの歓びを提案しています。

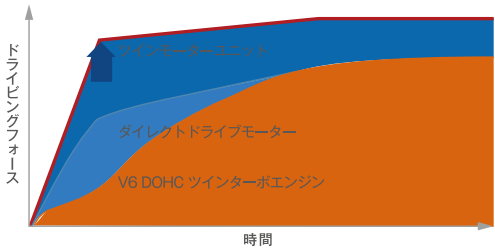
パフォーマンス

新型NSXの最大の特長は、「SPORT HYBRID SH-AWD®」と呼ばれるパワートレインにあります。これはミッドシップに搭載した3.5リッターV6ツインターボエンジンのパワーを、クランクシャフトと直結したダイレクトドライブモーターと、前輪を駆動するツインモーターユニットがアシストするハイブリッドシステム。エンジンとモーターの利点を融合することにより、鋭いレスポンスと強力な加速、そしてオン・ザ・レール感覚のハンドリングを実現しています。



ハイブリッドシステムのコントロールユニットとリチウムイオンバッテリーは、センターコンソール内とシート後部に搭載。重心近くへの搭載で運動性能を高めている

具体的には、ドライバーがアクセルを踏んだ瞬間にフロントのツインモーターユニットが起動。最大トルクに素早く達するモーターの特性を活かした発進加速を行います。さらに9速DCTのクラッチがつながった瞬間に、ダイレクトドライブモーターがターボラグを解消するトルクを発生。そしてエンジンによる強力なパワーが加わることで、ハイブリッドの利点を活かした加速が行われます。



モーターとターボエンジンの利点を組み合わせた加速が特徴的

ツインモーターユニットは、前輪左右のトルクを独立して制御。コーナリング時には前輪内側と外側のトルクを自在に変化させることにより、ドライバーが狙った通りのラインをトレースできるよう工夫されています。加速時に左右独立してトルク制御を行うだけでなく、減速時にもマイナストルクを発生させることで、アクセルのオン・オフを問わず最適なトルクベクタリングを実現しています。

エンジン

ミッドシップに縦置きされる3.5リッターV6ツインターボエンジンは、Vバンク角を一般的な60度ではなく、75度とすることで低重心化を実現。さらにエンジンオイルの潤滑方式にはドライサンプ式を採用。一般的なウェットサンプ式に比べてエンジン搭載位置を約60mm下げることが可能になり、運動性能の向上に寄与しています。また、デュアルクラッチ式トランスミッションは9速に多段化。1速を発進専用、9速をクルージング用として、中間の7速で走りを楽しむ設定としています。



低重心化を図るため新設計されたエンジンと、コンパクトに収められた9速DCT

最高出力581ps、最大トルク646Nmというシステム出力は、ボルシェ



FEATURE 1
ドライバーの意思に応える
スポーツハイブリッド+AWD

FEATURE 2
欧米のスーパースポーツに匹敵する
動力性能と運動性能

FEATURE 3
日本車としては高額な
2,370万円という車両価格

911ターボやアウディ R8クーペ、マクラーレン570Sなどと同等かそれ以上。実用性と快適性を兼ね備えたスーパースポーツのカテゴリーにおいて、互角に渡り合えるパフォーマンスを備えています。

シャシー

NSXのサスペンションセッティングは、リアでレスポンスと安定性を高め、フロントで低中速の切れの良さと高速での安定性を両立するというもの。サスペンションは前後ともオールアルミニウム製で、磁性流体式のアクティブ・ダンパー・システムを採用しています。

ドライブモードは、住宅地などでの静粛性を重視したQUIETモードとSPORTモードおよびSPORT+モード、そしてサーキット走行に適したTRACKモードの4種類が選択可能です。

ボディ構造



オールアルミニウム製ボディが特長だった初代NSXに対して、新型では押出成形アルミ材を中心とした、複数素材による新開発のスペースフレームを導入しています。特にフロントピラーには、自動車では世界初の3DQ（3次元熱間曲げ焼き入れ）超高張力鋼管を採用。適材適所の素材を使用することで、軽量化と高剛性を両立しています。

デザイン



マスの集中化を徹底し、ヨー慣性モーメントを低減したパッケージング

スタイリングは、スーパースポーツとしての力強さとエアロダイナミクスの機能性を兼ね備えたもの。なかでもフローティングデザインが特徴的なリアピラーは、軽さを象徴するデザインとしながら、ボディサイドの走行風を効率的に流す重要な機能を兼ね備えています。前後オーバーハングの短縮と、低重心化およびマスの集中化を追求したパッケージングにより、前後重量配分は42：58となっています。

インテリア



初代NSXと同様に、インテリアは視認性と快適性を重視したデザインとなっています。また、選択したドライブモードに応じてメーター表示が変化する8.0インチのダイナミックTFTメーターを採用。また、9速DCTのシフト操作はスイッチ式で、センターコンソールからレバーを廃止しています。

価格

米国オハイオ州の専用工場で生産される新型NSXは、国内の初年度販売予定台数として100台を見込んでいます。車両価格は23,700,000円で、すでに申し込み受付を開始。正式発売は2017年2月27日となります。性能面・価格面で欧州のスーパースポーツと同等になった新型NSXは、今後の動きに注目したいモデルです。

COMPETITORS INFORMATION [競合車情報]

北米のイベントで発表されたエクスクルーシブなモデル

今年もアメリカ・カリフォルニアにて「モントレー・カー・ウィーク」が開催されました。伝統と格式を誇るこのクラシックカー・イベントには、多数のクラシックカーと裕福なオーナーたちが世界中から集まります。そのため、近年は高級車メーカーの新型車やコンセプトカーがお披露目される機会が増えています。今回は「モントレー・カー・ウィーク」で発表された話題のニューモデルを3台紹介します。

ランボルギーニ・センテナリオ・ロードスター



ランボルギーニ・センテナリオ・ロードスターは、ボディおよびモノコックをすべてカーボンファイバーで形成した限定モデル。創業者フェルッチオ・ランボルギーニの生誕100周年を記念したモデルとして、クーペとロードスターがそれぞれ20台、合計40台が限定生産されます。

センテナリオおよびセンテナリオ・ロードスターに搭載されるエンジンは、アヴェンタドール LP750-4の6.5リッターV12自然吸気エンジンをベースに、最高出力を750psから770psに引き上げたもの。最高速度は350km/h以上で、0-100km/h加速はクーペの2.8秒に対し、ロードスターでは2.9秒と発表されています。

価格はクーペが175万ユーロ（約2億円）、ロードスターが200万ユーロ（約2億3,000万円）からとなっており、顧客の要望に応じて1台1台が特注仕様で製作されます。発表時点ですべて完売となっており、納車は2017年から開始される予定です。

KEN OKUYAMA CARS [kode57]



ピニンファリーナ在籍中にエンツォ・フェラーリ、マセラティ・クアトロポルテなどのデザインなどを手がけた奥山清行氏が率いる、日本発のカロツツェリアが「KEN OKUYAMA CARS」。これまでライトウェイトスポーツの「kode7」、「kode9」などを発表してきましたが、今年の「モントレー・カー・ウィーク」では次世代のハイパフォーマンスカーとして「kode57」を発表しました。

ロングノーズ・ショートデッキの伝統的なスポーツカーのプロポーションを基本としながら、斬新なフォルムを形成する「kode57」には、フェラーリのチューニングで知られるドイツのNovitecRosso社が手がけるV型12気筒エンジンを搭載。カーボンファイバー製のボディパネル製造や全体の生産は、KEN OKUYAMAの山形ファクトリーで行われます。



アストンマーティン・ヴァンキッシュ・ザガート・ヴォランテ



同社のヴァンキッシュをベースに、イタリアのカロツツェリア「ザガート」が内外装をデザインした限定モデルがアストンマーティン・ヴァンキッシュ・ザガート。99台の限定生産がアナウンスされたクーペは早々に完売。今回発表されたヴァンキッシュ・ザガート・ヴォランテは、オープントップ仕様を熱望する顧客のため、新たに99台が限定生産されるモデルです。

生産は英国ゲイドンにあるアストンマーティン本社工場でクーペと同時に行われ、デリバリー開始は2017年の第1四半期を予定しています。



E-LEARNING [E ラーニング]

Eラーニングの受講方法が変わります

部のリテラーの皆様のもとへ、ベントレー モーターズのクルー本社から、Eラーニング受講の案内が届いているかと思ひます。Eラーニングのシステムについていくつかお問い合わせをいただいておりますので、変更内容と今後の方針についてお知らせいたします。

クルー本社ではこのほど、システムの大幅な変更を実施しました。それに伴い、これまで「eAcademy」として単独で機能していたEラーニングのシステムが「ベントレー HUBシステム」に統合されました。ベントレー HUBは従来のBICSに代わり、ベントレーのあらゆる情報を発信するポータルサイトとして活用されることになります。そのため、今後Eラーニングを受講する際には、受講者ごとに新たにHUBのIDとTOKENが必要となります（これまでのAcademy/パスワードに代わり、HUBのID+TOKENで個人を識別）。

先日、全リテラーの皆様から受講対象者の情報をいただきました。ベントレー モーターズ ジャパンでは今後、それらの情報をもとに、未保有者分のTOKENの発注とHUBへの登録作業を行います。受講できるようになるまで今しばらくお時間をいただきますが、ご了承くださいようお願い申し上げます。



NEW MODEL



ベントレー史上最速のセダン登場
フライングスパー W12 S

フライングスパー W12 Sの特徴

EXTERIOR

外観はブラックパーツを採用し、よりスポーティで精悍な印象となりました。



- ラジエーター周囲、ヘッドライト（ウォッシャーキャップ含む）、ウィンドウモール（無償オプションでクロームも選択可）、リアバンパー、ドアハンドルインサートはグロスブラックパーツを採用
- Dピラーに「W12 S」バッジ（「W12」はクローム、「S」はブラック）を装着（無償オプションで「バッジなし」も選択可）
- 21インチアツインスポークホイール（グロスブラック）を標準装備。
- ダークティント21インチ5スポークディレクショナルスポーツホイール（写真）をオプション設定
- スポーツタイプフロントバンパー（フライングスパー V8 Sと同様）
- Beluga グロスリアディフューザー（フライングスパー V8 Sと同様）
- グロスブラックマトリックスグリル（フライングスパー V8 Sと同様）
- Beluga グロスドアミラー



POSITIONING

※詳細なスペックは未発表です。

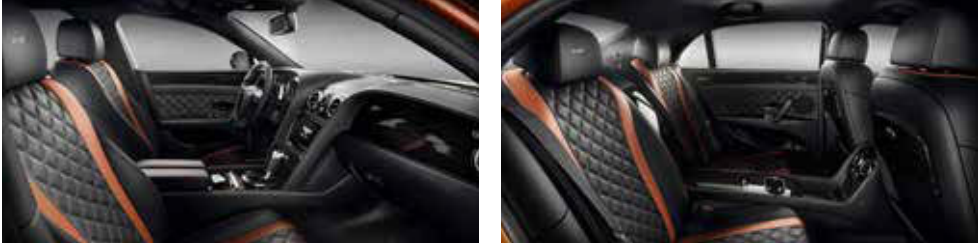
W12 Sが加わったことで、コンチネンタルGTと同様にV8が2モデル、W12が2モデルの計4モデルラインナップとなりました。それぞれのモデルのポジショニングを以下の表にまとめました。

	フライングスパー V8	フライングスパー W12	フライングスパー V8 S	フライングスパー W12 S
コンセプト	モダン、低燃費、洗練性	パワフル、エレガント、ラグジュアリー	スポーティ、現代風、俊敏性	精巧さ、個性的、パワフル
ターゲットイメージ	クラフトマンシップを感じる快適で乗りやすい、モダンでラグジュアリーなセダンをお求めのお客様	楽に運転できるパフォーマンスを備え、クラストップの洗練性とクラフトマンシップを感じるハイラグジュアリーセダンをお求めのお客様	快適性と現代風のパッケージを備えつつも、スポーティでレスポンスの良いセダンをお求めのお客様	ラグジュアリーなセダンの中に究極のスタイル＆パワーを求め、心を打つデザインと楽に運転できるパフォーマンスを欲するお客様
最高出力 (PS[kW]/rpm)	507[373]/6000	625[460]/6000	528[388]/6000	635 ※
最大トルク (Nm[kgm]/rpm)	660[67.3]/1700	800[81.6]/2000	680[69.3]/1700	820[83.6]/2000
最高速度 (km/h)	293	322	300	325
0-100km/h加速 (秒)	5.2	4.5	4.9	4.3

英国ベントレー モーターズはこのほど、フライングスパーのラインナップにフライングスパー W12 Sを追加すると発表しました。
ベントレー史上最速で、最もスポーティかつラグジュアリーなセダンです。
なお、日本では26,650,000円で発売される予定です。
※現時点ではフライングスパー W12 Sの日本導入時期は未定です。

INTERIOR

エクステリアのテーマはインテリアにも反映されています。



- W12 S専用カラースプリット（アクセントカラーとともに17色から選択）
- コントラストステッチ入りダイヤモンドキルト
- コントラストステッチ入りスポーツプラスステアリング標準装備
- コントラストステッチ（インテリアの他の部分）
- 標準仕様のフェイスパネル&ウェストレールパネルにBlack engine spin（無償オプションでBurr walnut、Dark stained burr walnut、Piano blackを選択可）
- 「W12 S」のヘッドレストステッチ（「W12」はシルバーステッチ、「S」はブラックかハイド同色）入り（無償オプションでベントレーエンブレムのステッチも選択可）
- 「W12 S」ロゴ入りステッププレート
- Mulliner Driving スペシフィケーション標準仕様

PERFORMANCE

フライングスパー W12 Sは、最高出力635PS、最大トルク820Nmを発揮し、最高速度325km/h、0-100km/h加速4.3秒のベントレー史上最速の4ドアモデルとなります。ダンパー制御とスタビライザー制御は、W12 S専用のプログラムを導入しました。カーボンセラミックブレーキはオプション設定される予定です。

COMPETITORS

※詳細なスペックは未発表です。

	フライングスパー W12 S	メルセデスAMG S 65 long	BMW 750 Li M Sport	アストンマーティン Rapid S
エンジン形式	6.0リッター W型12気筒	6.0リッター V型12気筒	4.4リッター V型8気筒	6.0リッター V型12気筒
最高出力 (PS[kW]/rpm)	635 ※	630[463]/4800-5400	450[330]/5500-6000	560[412]/6750
最大トルク (Nm[kgm]/rpm)	820[83.6]/2000	1000[102.0]/2300-4300	650[66.3]/1800-4500	630[64.2]/5500
最高速度 (km/h)	325	250	250	327
0-100km/h加速 (秒)	4.3	4.3	4.4	4.4
駆動方式	4WD	FR	FR	FR
トランスミッション	ZF 製 8速AT	電子制御7速AT	電子油圧制御式8速AT	8速AT

LATEST NEWS [最新情報]

DESIGNER

エクステリアデザイン部門の
リーダーにグレゴリー氏

英国ベントレー モーターズはこのほど、エクステリアデザイン部門のヘッドにジョン・ポール・グレゴリー氏が就任することを発表しました。

グレゴリー氏は、イングランドのノーザンブリア大学で交通デザインを専攻。その後ドイツのブフォルトツハイム大学でオートモービルデザインの修士課程を修了しました。卒業後はヴォルフスブルクのフォルクスワーゲンでエクステリアデザイナーとして4年間勤務。2008年にベントレーに入社し、ベントレーの上級エクステリアデザインリーダーとして8年間勤務してきました。

この人事について、ベントレー モーターズのデザイン部門を統括するディレクターのステファン・シーラフ氏は、「彼がベントレーで経験してきたものは非常に貴重です。私たちが進もうとしている方向を深く理解し、このブランドに情熱をもたらしてきました。彼とともに将来のニューモデルを考えていくことは、会社にとって重要なことです。次世代のベントレーに彼のあふれる洞察力とアイデアを期待します」とコメントしています。

グレゴリー氏は、「ラグジュアリー、ハイパフォーマンスカーといったベントレーの象徴的な特徴を継承しながら、次世代のベントレーにふさわしい形を追い求めていきたいです」などと豊富を語っています。



WEBSITE

メディアサイトがリニューアル
新着情報が見やすくなり
使い勝手が向上

英国ベントレー モーターズはこのほど、メディアサイトを「BENTLEY NEWSROOM」としてリニューアルしました。新着リリースがトップページに大きく表示されるなど全体的に見やすくなり、使い勝手が向上しています。

このサイトの情報は基本的にはメディア向けですが、登録などの必要はないため誰でもアクセスが可能。クルー本社の動向をいち早く理解する情報を入手することが可能です。また、リニューアルにより「FEATURES (特集)」のコンテンツも誕生。現在はル・マンで5回の優勝経験を持つ伝説のレーシングドライバー、デレク・ベル氏がベントレーについて熱く語っている記事や、ベントレーが使用するレザーとそれを扱う職人に関する記事、ベントレーの次世代に向けたデジタルデバイスの活用に関する記事を読むことができます。ディーラーマーケティングニュースと併せてご利用ください。



media website https://www.bentleymedia.com/en/_home

MOTOR SPORTS

連続表彰台の9号車
Venter/澤組の8号車は優勝
GTアジア第9戦・第10戦

ベントレー・チーム・アブソルートがフル参戦しているGTアジアは、8月19日～21日に上海国際サーキットで第9戦と第10戦が開催されました。第9戦ではTappy/Inthraphuvasak組が2位に、第10戦ではVenter/澤組が優勝したうえ、Tappy/Inthraphuvasak組も3位表彰台を獲得しました。

第9戦でのTappy/Inthraphuvasak組は最後の最後までトップ争いを演じ、写真判定までもつれる展開に。残念ながら0.05秒というわずかな差で2位になりました。Tappy選手は「みんなが『よくやった』と言ってくれますが、0.05秒差で優勝を逃すのは本当に悔しいことです。それでもチームに多くのポイントをもたらせたのはよかったと思っています」と、悔しさを隠し切れないコメントを発表しました。

翌日に行われた第10戦で輝きを放ったのはVenter/澤組でした。澤選手が好スタートを切り、バトンを受けたVenter選手がトップに立って逃げ切るという理想的なレースを展開。前日に抱えていた問題を、メカニックたちが徹夜で修理し完璧に仕上げたことが功を奏しました。澤選手は「車を徹夜で修理してくれたスタッフに感謝です。タイヤの摩耗に気をつけながら走り、Venterに良いポジションで引き継げたと思います」と語り、Venter選手は「澤さんがいつもどおり素晴らしいスタートを切ってくれましたし、僕も良いペースを刻むことができました」などと語っています。

GTアジアの最終ラウンドは10月21日～23日に上海で開催されます。チームランキングでベントレー・チーム・アブソルートは現在250ポイントの1位。GTアジア2連覇を目指すチームへのご声援をよろしくお願いします！



CUSTOMER BOOK

ミュルザンヌ (17MY) の
カスタマーブック完成

ミュルザンヌ (17MY) のカスタマーブック「17MY Mulsanne Range Book」(全132ページ) が完成しました。ミュルザンヌ、ミュルザンヌSpeed、ミュルザンヌ エクステンデッド ホイールベース(日本未導入) の3モデルが、「Extraordinary」の世界観を表現したベントレーのフラッグシップにふさわしい写真が使用されています。

日本への入荷時期や価格に関しては、後日ベントレー モーターズ ジャパンよりご案内いたします。いち早くお客様にお知らせしたい、または先に拠点内で共有したいなどといった場合は、ディーラー マーケティング ニュースのウェブサイトからPDF版がダウンロードできます。こちらも併せてご利用ください。



<http://retailer.bentley.co.uk/content/dmn/en/downloads/mulsanne.html>


BASIC KNOWLEDGE [基礎知識]

The Parts Supplier of Bentley Vol.3



brembo

ベントレーの各車両に専門部品を供給しているパーツサプライヤーを紹介する「The Parts Supplier of Bentley」。
第3回は高性能ブレーキメーカーとして確固たる地位を築いているbrembo（ブレンボ）です。



ブレンボの歴史

1961年、イタリア北部の工業都市、ベルガモの近郊で小さな機械工場としてスタートしたブレンボ。創業者の機械加工と冶金の経験を活かし、64年からリベアパーツ市場向けにブレーキディスクの生産を開始する。72年、イタリアの二輪メーカー、モトグッツィへの製品供給をきっかけにモーターサイクル業界へ進出。75年にはフェラーリからF1マシンのブレーキ開発の依頼を受け、モータースポーツとの関りを深めていった。80年、画期的なアルミニウム製ブレーキキャリパーの量産化に成功し、世界中の自動車メーカーに一気に浸透。70年代から開発に着手し、モータースポーツを通じて熟成を進めてきた市販車用カーボンセラミックブレーキも02年からOEM供給を開始し、数多くのハイパフォーマンスカーに採用されている。

ベントレーとブレンボ

ブレーキに求められる性能は、単に動くクルマを止めるだけではありません。ブレーキペダルをわずかに踏み込んだときに、その分だけ制動力が発生するか、そこからさらにペダルを踏み込んでいくと、その量に応じて制動力が増していくか、少しペダルを戻したときにその分だけ制動力が減るか、そしてその変化をドライバーがしっかり感じ取れるか。スポーティな走りには、絶対的な制動力と並んでそういった過渡特性とフィードバック性に優れたブレーキが欠かせません。

創業55年。歴史ある自動車業界においてブレンボは必ずしも老舗ブランドではありません。しかし、性能向上への飽くなき探求心と情熱、そして、フェラーリやドゥカティといった同じイタリアの4輪、2輪メーカーとの共同開発によって急速に進化。今や世界中の自動車、バイクメーカーがその性能を認め、OEM供給を受ける存在となりました。

ベントレーもその性能を認め、入念なテストとセッティングを経てブレンボのブレーキシステムを導入。コンチネンタルGT3-Rには、F1ブレーキ開発のノウハウを受け継ぐカーボンセラミックブレーキを標準装備、コンチネンタルGT V8 Sなどではオプション設定されています。



相手先ブランドの要望に応え、キャリパー全体のデザインや刻印、カラーリングなどを変更して納品するのもブレンボの特徴です。

世界のレースシーンで絶大な信頼を獲得

一般公道ではあり得ない過酷な状況下で技術開発を進め、勝利することでブランドイメージを高める――。現在のブレンボの隆盛を支えてきたのが、モータースポーツであることは紛れもない事実です。

75年、少量の鋳鉄ディスクを供給することから始まったF1フェラーリチームとのジョイントは、現在に至るまで40年間継続。その間ロータス、ベネトン、リジェ、マクラーレン、ジョーダン、レッドブル、トロロツォ、BMWザウパー、ホンダ、ブラウンGP、メルセデスといったチームにも供給され、これまでに300を優に超える勝利を挙げています。

2輪レースの最高峰モトGPにおいても、日本のホンダ、ヤマハ、スズキ、イタリアのドゥカティにブレーキシステムを供給。過去31年間にブレンボのブレーキシステムを採用したチームが27回のシリーズチャンピオンを獲得し、世界中のバイクメーカー、レーシングコンストラクター、そして数多くのスターライダーから絶大な信頼を得ています。

ブレンボのWEBサイトでは、レース中のブレーキの使われ方を詳細に分析した図表などを公開しています。お時間のあるときにぜひアクセスしてみてください。

brembo website



<http://www.brembo.com/jp/>



かつてブレンボと双璧を成したイギリスの高性能ブレーキブランド「AP ロックード」。現在はブレンボの傘下に入り「AP」、「APレーシング」のブランドで開発、生産、販売を行っています。



コンチネンタルGT V8 Sにオプション設定されているブレンボ製のカーボンセラミックブレーキ。制動力、過渡性能、レスポンス、ブレーキフィードなどあらゆる面で優れたブレーキである点を、ぜひお客様にアピールしてください。



GTアジアにエントリーしているコンチネンタルGT3にも、ブレンボのブレーキシステムが採用されています。